

法政大学江戸東京研究センター
第3研究プロジェクト「テクノロジーとアート」
シンポジウム

[会場]

法政大学 市ヶ谷田町校舎 5階

マルチメディアホール(入場無料)

所在地: 東京都新宿区市谷田町2-33

アートと東京

2018年11月25日 日

12時20分から17時50分

プログラム

○第1セッション(12時30分から14時30分)

中丸宣明(法政大学)

田中和生(法政大学)

●第2セッション(14時40分から16時40分)

山田夏樹(昭和女子大学)

中沢けい(法政大学)

○全体討議(16時40分から17時40分)

2018年11月24日 土
10時20分から17時50分

プログラム

●第1セッション(10時30分から12時)

荒川裕子(法政大学)

クレリア・ゼルニック(パリ国立美術学校)

○第2セッション(13時から15時)

北澤ひろみ、小高日香里(東京都現代美術館)

椿玲子(森美術館)

大澤啓(東京大学総合研究博物館)

●第3セッション(15時10分から16時40分)

岩井桃子(横浜国立大学)

古屋俊彦(明治大学)

○全体討議(16時40分から17時40分)

□詳細情報

<https://edotokyo.hosei.ac.jp/>



スマートフォン用 携帯電話用

文学と東京

諸芸術にとっての東京の、世界他都市と比しての、独自の存在理由をあらためて問うというシンポジウムを、「アートと東京」、「文学と東京」という二本立てで、二日にわたって実施する。

東京がアートを受け入れ、アートを生むその仕方をあらためてたどり、その特徴をあぶりだし、そのうえで、現代における、アートにとっての東京の存在理由は何なのかを解き明かす。

●第1セッション[10時30分から12時]
司会 安孫子信(法政大学)

荒川裕子(法政大学)／
アートを受容する場の多層性:ケーススターディーからクレリア・ゼルニック(パリ国立美術学校)／
Tokyo Underground

○休憩[12時から13時]

●第2セッション[13時から15時]
司会 山本真鳥(法政大学)

北澤ひろみ、小高日香里(東京都現代美術館)／
「MOTサテライト」ー現代美術とまちとの交わりー
椿玲子(森美術館)／
東京における森美術館のあり方について
大澤啓(東京大学総合研究博物館)／
地下東京(アンダーグラウンド)の誕生
ー 戦後美術運動と公共空間

○休憩[15時から15時10分]

●第3セッションと総括[15時10分から16時40分]
司会 安孫子信(法政大学)

岩井桃子(横浜国立大学)／
アートの視点で見る都市の公共空間づくり
古屋俊彦(明治大学)／ネクロポリスとしての東京

○全体討議[16時40分から17時40分]

アートと東京「11月24日」
文学と東京「11月25日」

東京が文学をどう生んできたのか、また、文学が東京という場所をどう扱い語ってきたのか、その特徴をあぶりだし、そのうえで、現代における、文学にとっての東京の存在理由を解き明かす。

●第1セッション[12時30分から14時30分]
司会 横山泰子(法政大学)

中丸宣明(法政大学)／立身出世の都ー江戸・東京
田中和生(法政大学)／
リアリズムの変容
ー夏目漱石『三四郎』から吉田修一『横道世之介』まで

○休憩[14時30分から14時40分]

●第2セッションと総括[14時40分から16時40分]
司会 安孫子信(法政大学)

山田夏樹(昭和女子大学)／
「ドヤ街」から読む東京
ー高森朝雄原作、ちばてつや作画「あしたのジョー」と三島由紀夫「音楽」

中沢けい(法政大学)／
不定形に広がる東京をどう描くかー東京郊外の物語

○全体討議[16時40分から17時40分]

[会場]

法政大学 市ヶ谷田町校舎 5階
マルチメディアホール(入場無料)
所在地: 東京都新宿区市谷田町2-33

[問い合わせ先]

法政大学江戸東京研究センター事務室
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3
九段校舎別館1F

Tel:03-3264-9682

E-mail: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp

